

		医薬品名 (一般名)	措置概要	措置国
263	G-07000264	塩酸エスモロール	製造元は、投薬過誤のリスク増加により、塩酸エスモロール製剤250mg/mLの製造および販売中止を決定した。理由は投薬過誤を最小限にするためである。	米国
264	G-07000265	オフロキサシン	米FDA/Medwatchにおいて、「安全性に関する表示変更の概要(2007年6月)」に、オフロキサシンが掲載された。主な改訂内容は以下の通りである。 「WARNINGS」: 過敏性反応及び臓障害が起こる可能性があることの注意が追記され、重篤な副作用を防止するための情報提供がなされた。	米国
265	G-07000266	マレイン酸チモロール	米FDA/Medwatchにおいて、「安全性に関する表示変更の概要(2007年6月)」にマレイン酸チモロールが掲載された。主な改訂内容は以下の通りである。 「WARNINGS」: 喘息の患者における気管支痙攣や心臓病の患者における心停止、肺疾患の患者における気管支痙攣、外科手術の麻酔時、細菌性角膜炎等が起こる可能性がある。	米国
266	G-07000267	塩酸ジルチアゼム	ジルチアゼム製剤の製品情報の改訂において、「相互作用」の項において、ブスピロン(5-HT _{1a} 受容体の部分作動薬)との併用によって、塩酸ジルチアゼムの作用増強と毒性増大が生じたという臨床試験の結果が記載された。	米国
267	G-07000268	セフボドキシム プロキセチル	米FDAからの抗菌剤のClass labelingの指示により、USPIのWARNINGSの項に記載されていた偽膜性大腸炎に関する注意喚起が「その重症度は軽度な下痢から致死的な大腸炎まで広範に及ぶ」とする「クロストリジウム関連下痢」として追記・変更された。	米国
268	G-07000269	塩酸ベタキソロール	塩酸ベタキソロール製剤の製品情報が改訂された。「WARNINGS」および「PRECAUTIONS」の項において、β遮断薬を脳血管不全の患者に投与する際は、注意して用いることや、閉塞隅角緑内障治療において、塩酸ベタキソロール製剤単独で治療すべきでないことが記載された。	米国
269	G-07000270	塩酸シプロフロキサシン	塩酸シプロフロキサシン製剤の製品情報が改訂された。「WARNINGS」の項において、キノロン製剤投与に伴う過敏症状発症の報告がなされていること、65歳以上の高齢患者の服用において臓障害リスクが高く、コルチコステロイド製剤を服用している高齢患者ではよりリスクが高いこと、抗菌薬投与中もしくは投与終了後2ヶ月以降に発症した下痢症状には注意が必要であり、患者は臨床医に報告するべきであること等が記載された。	米国
270	G-07000271	リン酸ジヒドロコデイン含有一般用医薬品	米FDAは、一部の授乳婦によるコデインの使用が、授乳を受けている乳児において生命を脅かす副作用を引き起こすことに関するPublic Health Advisoryを発表した。母親がコデインのultra-rapid metabolizerであり、コデインを服用している場合に、授乳を受けている乳児におけるモルヒネ過量摂取のリスクが増大する可能性があり、死亡例が報告された。	米国
271	G-07000272	リン酸コデイン	米FDAは、一部の授乳婦によるコデインの使用が、授乳を受けている乳児において生命を脅かす副作用を引き起こすことに関するPublic Health Advisoryを発表した。母親がコデインのultra-rapid metabolizerであり、コデインを服用している場合に、授乳を受けている乳児におけるモルヒネ過量摂取のリスクが増大する可能性があり、死亡例が報告された。	米国
272	G-07000273	リン酸コデイン	米FDAは、一部の授乳婦によるコデインの使用が、授乳を受けている乳児において生命を脅かす副作用を引き起こすことに関するPublic Health Advisoryを発表した。母親がコデインのultra-rapid metabolizerであり、コデインを服用している場合に、授乳を受けている乳児におけるモルヒネ過量摂取のリスクが増大する可能性があり、死亡例が報告された。	米国
273	G-07000274	フォンダパリヌクスナトリウム	フランスにおいて、フォンダパリヌクスナトリウムを表在性静脈血栓症、ヘパリン起因性血小板減少症、心リズム障害(特に心房細動)などの適応外の治療で使用した症例で出血事象が発現したため、フランス規制当局の指導により2007年6月ドクターレターが配布された。	フランス
274	G-07000275	リン酸コデイン	米FDAは、一部の授乳婦によるコデインの使用が、授乳を受けている乳児において生命を脅かす副作用を引き起こすことに関するPublic Health Advisoryを発表した。母親がコデインのultra-rapid metabolizerであり、コデインを服用している場合に、授乳を受けている乳児におけるモルヒネ過量摂取のリスクが増大する可能性があり、死亡例が報告された。	米国
275	G-07000276	リン酸コデイン	米FDAは、一部の授乳婦によるコデインの使用が、授乳を受けている乳児において生命を脅かすADVERSE REACTIONSを引き起こすことに関するPublic Health Advisoryを発表した。母親がコデインのultra-rapid metabolizerであり、コデインを服用している場合に、授乳を受けている乳児におけるモルヒネ過量摂取のリスクが増大する可能性があり、死亡例が報告された。	米国